

2005年4月22日

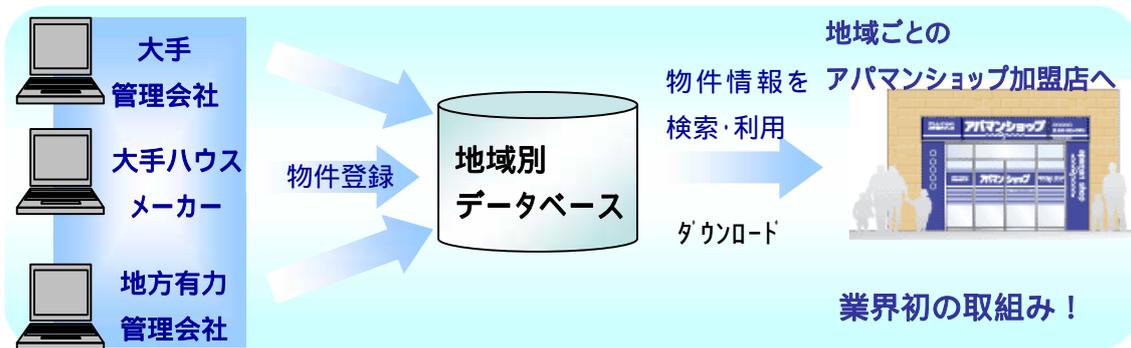
報道関係者各位

株式会社アパマンショップネットワーク

東京エリアにて先行リリース 業界初 大手から地場有力管理会社まで 賃貸管理物件を地域別データベースへ集約

株式会社アパマンショップネットワーク(東京都中央区・代表取締役社長 大村浩次、証券コード 8889)は、2005年4月、全国に先駆け東京エリアの加盟店向けに、「賃貸物件地域別データベース」で集約した物件情報のダウンロードサービスを開始します。

本加盟店向けサービスの詳細は以下の通りです。



圧倒的入居斡旋力により管理会社からのデータインポートを実現

本サービスは、全国組織の大手管理会社から～中堅地場管理会社まで、幅広い管理会社と本部が提携し、それぞれの管理物件データをアパマンショップの地域データベースに集約し、そのエリアのアパマンショップが必要な物件をダウンロードし共有するというものです。アパマンショップの誇る圧倒的入居斡旋力が、業界初のスキームを実現させました。

店舗オペレーション効率を大幅アップ

現在賃貸斡旋店舗業務の約 25～35%程度を占めるといわれている、「物件調査・物件登録・更新業務」の一部を本部が代行し、店舗オペレーション業務の大幅な効率化を図ります。

ワンソース マルチユースを実現

このデータは、情報誌「アパマンショップ」(全国で月間 30 万部発行)への入稿や、月間 5000 万ページビューを誇る賃貸物件検索サイト(空室情報 45 万件)への掲載にも、簡単な PC 操作で利用することが可能です。

全国各地域ごとにリリース予定

現在、本部で構築している物件データベースには、全国で約 90 万件、東京都内だけでも約 5 万件の空室情報が蓄積されています。更新は 現在 1 週間に 1 回。
今後、全国各地域ごとにデータベースを切り分けていく予定です。

利用料金無料

加盟店舗には無料にてサービス提供いたします。

以上